

災害に備え、

『平成25年度 防災エキスパート情報交換会』

を開催しました。

平成25年7月11日に宇都宮国道事務所管轄内において『平成25年度 防災エキスパート情報交換会』を開催しました。

「防災エキスパート制度」は、阪神・淡路大震災を契機に、ボランティアの果たす役割の重要性が認識されたことによって発足されたものです。この制度に登録された方々（「防災エキスパート」）は、公共土木施設等の整備・管理等に豊富な経験や知識を持っており、災害時はボランティアとして活動を行います。

この「防災エキスパート」の活動内容は、被災箇所の報告や災害復旧方法の検討などがあげられます。この活動によって、より広範囲に、より迅速な被災状況の把握や被災箇所の災害復旧を行うことが期待できます。

宇都宮国道事務所では突発的な災害に備え、毎年、「防災エキスパート」との情報交換会を開催しています。今年度の情報交換会では、当事務所からは現在行っている事業や「道の駅」の防災機能、「防災エキスパート」からはこれまでの活動報告などがなされ、併せて携帯電話での情報伝達システムの操作訓練、「道の駅」現地調査を実施しました。

以下は、『平成25年度 防災エキスパート情報交換会』の様子です。



事務所内で行った
防災エキスパート情報交換会



「道の駅」の防災機能
自家発電装置



「道の駅」の防災機能
給水タンク